

みんなで始めよう アピアランスケア

近年、がん医療の進歩はめざましく、治療法の選択肢の増加に伴って、治療をつづけながら社会生活を送る患者さんが増えています。

そして、治療によって生じた見た目の変化に戸惑い、治療と日常生活との両立に悩みを抱える患者さんもいます。

今、そのような悩みを抱えた患者さんへのサポート ～アピアランスケア～ の重要性が認められています。

アピアランスケアとは、単なるケア用品をお勧めしたり、お手入れのテクニックをお伝えするだけのサポートではありません。患者さんひとりひとりの『思い』に寄り添い、『その人自身が自分らしく社会とつながり生活できるように支える』ケアのことです。

患者さん自身が支援を欲した時に、がん医療に携わる医療従事者が適切な情報を提供し、支えられるように…

アピアランスケアについて私たちと一緒に学んでみませんか？

2024.10/10 Thu 17:15-18:45

■会場：オンライン開催（ZOOM）

■対象：がん医療に携わる医療職の方

基調講演 だれが？どうする？アピアランスケア



藤間 勝子（とうま・しょうこ）

国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院
アピアランス支援センター センター長

化粧品会社を退職後に公認心理師・臨床心理士資格取得。2011年より国立がん研究センター中央病院にて、がん患者の外見ケアにたずさわる他、高齢者や障害者に対する美容を用いたケアを実践している。2021年より現職。

プログラム

座長／岩手医科大学産婦人科学講座教授

がん相談支援センター長 馬場 長

司会／医療福祉相談室総括課長 近藤 昭恵

17:15-17:20	開会のあいさつ
17:20-18:00	基調講演
18:00-18:25	事例発表 ～医療現場、それぞれの立場から～
事例 1	がん相談支援センターでの情報提供の実際 がん相談支援センター 橘 寿江
事例 2	化学療法センター・アピアランスケア外来での活動について 化学療法センター 川野 由美子
事例 3	薬剤師外来での情報提供について（仮） 薬剤師 青木 朋彦
事例 4	病棟での取り組みについて 西 8 B 看護師 土屋 希
18:25-18:40	質疑応答
18:40-18:45	閉会のあいさつ



◀QRコードを読み取り、**WEBフォーム** からお申し込みください。

■ WEBフォームでのお申し込みが困難な方は お電話またはメールでお問い合わせください

■ お問い合わせ先：岩手医科大学附属病院 がんセンター事務室

TEL. 019-613-7111(内)3222 MAIL. cancer@j.iwate-med.ac.jp